

県立総合病院の 脳ドックの特徴

3.0テスラMR装置による検査

当院が保有する高性能なMR装置を使って検査することにより、より細い血管を詳細に観察することができます。

経験豊富な医師による結果説明

放射線診断科専門医が画像の判定をした上で、脳神経外科科長または神経内科科長が検査当日に結果の説明を行います。
また、検査レポートを含む結果説明書も検査当日に発行します。



高度医療センターとの連携

病気が発見された場合は、脳卒中センターおよび脳神経外科・神経内科と連携して、スムーズに治療につなぐことができます。

高度医療センター

県立総合病院では、複数の診療科や部門が協力して一つの疾患を多角的・総合的に診断・治療し、患者さんが必要とする専門的な治療をよりわかりやすく提供することを目的に、院内に高度医療センターとして

「乳腺センター」「肺がんセンター」

「人工関節センター」

「放射線治療センター」

「心臓血管センター」

「消化器センター」

「脳卒中センター」

「頭頸部腫瘍センター」

を設置しています。



●脳ドックとは

- ・病気が発症する前に、脳の健康診断を行います。
- ・脳動脈瘤（血管にできるコブで、クモ膜下出血の原因となります）、脳血管の狭窄（脳梗塞の原因になります）、症状の出していない脳梗塞、脳腫瘍などを早期に発見し、治療につなげることができます。



●MR検査とは

- ・大きなトンネル状の磁石の中に入って特殊な電波を体に当てます。
- ・体から帰ってきた信号をもとに体内の様子を画像で見ることができます。
- ・放射線は使いませんので被ばくはありません。
- ・脳と脳の血管の両方を調べることができます。

* 検査にあたっての注意事項

- ・検査時間は約30分です。
- ・MR検査はトンネル状の装置の中に入って撮影します。閉所恐怖症など狭いところが苦手な方はお申し出ください。
- ・検査中は大きな音が鳴ります（ヘッドホンまたは耳栓を装着します）

以下に該当する方は、 脳ドック(MR検査)を 受けることができません

- ・心臓ペースメーカー、埋め込み型除細動器(ICD)、人工内耳を装着されている方
- ・頭部の手術を受けたことがある方
- ・心臓の人工弁を留置している方
- ・刺青やマユズミをされている方（やけどの危険性があります）

★ その他、問診の結果により、受診をお断りする場合がありますのでご了承ください。

●MR装置について

- ・MR装置の性能は「テスラ」という磁石の強さを表す単位で表します。
- ・病院に整備されているMR装置は高性能であっても1.5テスラまでのものが一般的ですが、当院の脳ドックでは3.0テスラの装置を使って検査します。

* 1.5テスラMR装置と3.0テスラMR装置との違い

- ・磁石の強さが2倍になることで原理上4倍のMR信号が得られます。
- ・4倍の信号量を活かして全身(器官・血管・神経・腱など)の微細な構造物の確認や、検査時間の短縮が可能です。



3.0テスラMR装置

Ingenia 3.0T PHILIPS社製

* 3.0テスラMR装置の特徴

- ・MR信号の増加によって、1.5テスラMR装置では見えてこなかった元々細い血管（血管が細かく分かれていく部分）が観察出来るようになります。全身MRI検査の中でも頭部の検査はMRIが得意とする領域です。



頭部血管画像